

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保2-13-14	172	個人住宅	—	2002.11.5~11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第6地点	鶴ヶ舞1-84	474	個人住宅	2002.9.10~9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保1街区	3,752	給油所	2002.9.24~10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保1街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29~11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10~6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保3-22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18-11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保4街区3画地	64	個人住宅	2003.2.6~2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保9街区3画地	225	個人住宅	2003.2.3~2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区1画地	610	共同住宅	2002.5.29~6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区3・4画地	322	共同住宅	2002.9.13~9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区1・4画地	736	駐車場	2003.3.17~3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	165	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	155	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	132	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	140	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3~9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137-2	524	個人住宅	2002.10.2~10.6	2002.10.8~10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭1-8-2	182	個人住宅	2003.2.14~2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33 35-8-1	762	老人介護施設	2003.2.3~2.5	2003.4.7~6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30-5	185	個人住宅	2003.2.7~2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304-1,303-6	672	分譲住宅	2002.5.15~5.25	2002.5.27~6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264-4	216	個人住宅	2002.9.18~20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293-11	143	個人住宅	2003.1.14~1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283-1	674	造成	2003.1.10~1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-5・3・4,373-8	935	分譲住宅	2002.4.23~5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第7地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15~4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第9地点	大井1-3-14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26~4.3	2004.7.30~9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区2画地	984	共同住宅	2002.5.22~6.6	2002.6.20~8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区1画地	135	個人住宅	2002.7.24~8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井2-242-1	677	個人住宅	2002.8.5~8.22	2002.8.23~9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井1-11-9	50	道路	—	2002.11.19~12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80-6-9	476	個人住宅	2003.1.17~1.22	—	試掘調査、大井宿8地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99-1	446	共同住宅	2002.6.19~21	2002.7.1~7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区7画地	463	分譲住宅	2002.8.20~8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131-2	217	店舗併用住宅	2002.9.30~10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101-7画地	1,264	共同住宅	2002.11.11~11.15	2002.12.11~2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13~2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52-22	1,051	駐車場	2002.8.22	—	試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626-8	100	個人住宅	2002.6.3~6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				

XI 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

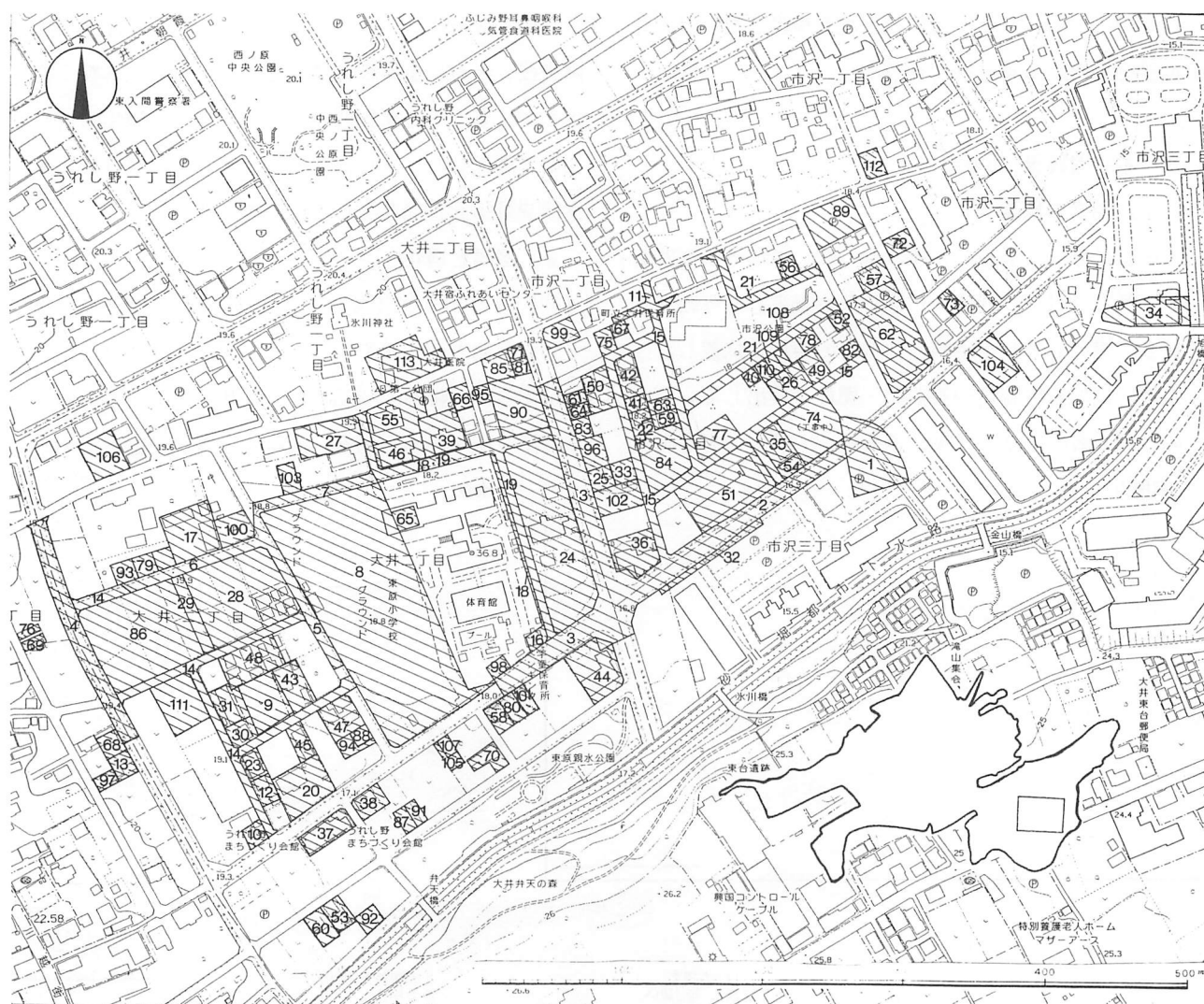
本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15~20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。

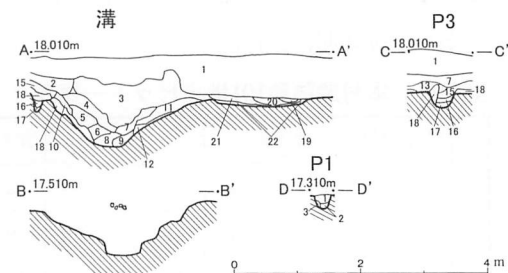
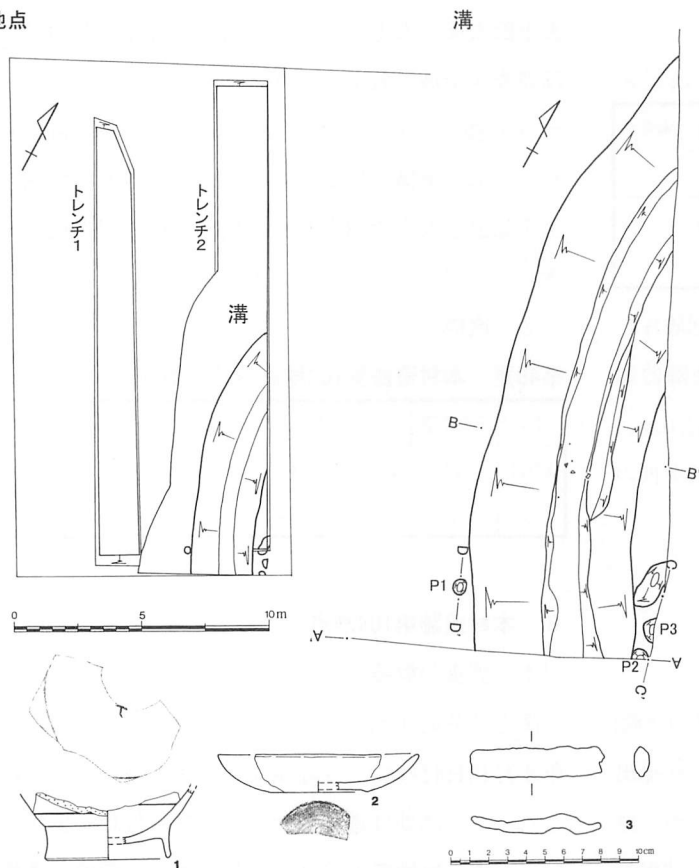
いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2005年3月現在113地点で調査し、旧石器時代の礫群・石器ブロック、縄文時代の落し穴・炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式塋・茶毘跡等を多数検出している。



第94図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

101地点



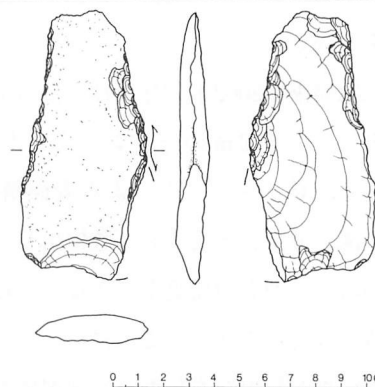
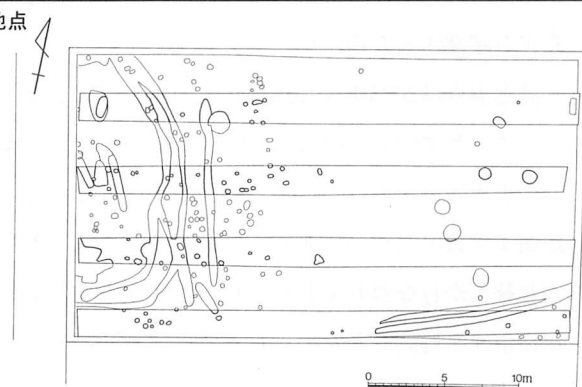
SPA・C

- 1.黒褐色土 締り弱. 表土. 耕作土
- 2.黒褐色土 締り有. 粘性弱. 大きなブロック状の土
- 3.黒褐色土 締り有. 粘性やや有. ローム粒やや多量.
- 4.黒褐色土 締り弱. 粘性無. ローム粒少量. 色はやや明るい
- 5.黒褐色土 締り有. 粘性やや有. ローム粒やや多量. ロームブロック少量
- 6.ロームブロックなし
- 7.黒褐色土 締り弱. 粘性無. ローム粒少量. ややサラサラする
- 8.黒褐色土 締り有. 粘性有. ローム粒多量. ロームブロック少量
- 9.ロームブロック多量
- 10.褐色土 締りやや有. ローム粒主体. 暗褐色土混入
- 11.褐色土 締り有. 粘性やや有. ローム粒極多量. ロームブロック多量
- 12.黒褐色土 締り有. ローム粒・ロームブロック極多量
- 13.黒褐色土 締り弱. ロームブロックとの混合土
- 14.黒褐色土 締り弱. ローム粒多量. ロームブロック多量
- 15.暗褐色土 締り弱. ローム粒極多量
- 16.黒褐色土 締り有. ローム粒多量
- 17.黄褐色土と黒褐色土の混合土 締り有
- 18.黄褐色土 締り有. ロームブロック主体. ややもろい. 黒褐色土混入
- 19.ロームブロックと黒褐色土の混合土 締り弱. 埋土
- 20.褐色ローム主体 締り弱. 埋土
- 21.黒褐色土 締り弱. ローム粒多量に含む. 埋土
- 22.地山ローム 埋土

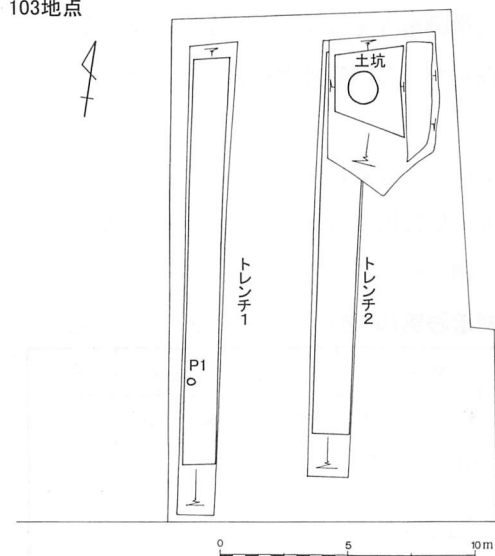
ビット1

- 1.暗褐色土 締り硬い. ローム粒多量に含む
- 2.暗褐色土とローム粒の混合土 締り硬い.
- 3.ロームブロック主体 締り有.

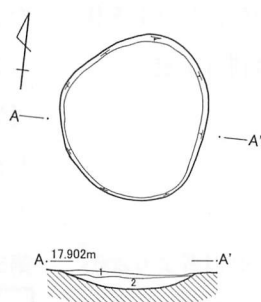
102地点



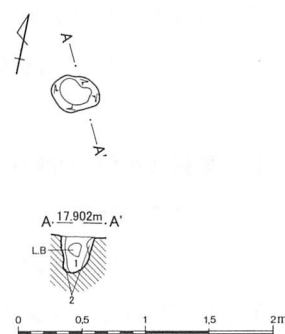
103地点



土坑



P1



土坑1

- 1.黒褐色土 締り弱. 茶褐色ブロック混入. ロームブロック多量に含む
- 2.茶褐色土の地山

ビット1

- 1.黒褐色土 締り弱. 茶褐色ブロック混入
- 2.地山 ロームブロックは茶褐色の地山ブロック

しており、新しい溝は断面「コ」字形を呈する。出土遺物から埋没時期は19世紀。

第48表 本村遺跡第101地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	25 × 20	15 × 11	23	
2	不明	23 × (15)	11 × (7)	29	
3	不明	40 × (18)	16 × (7)	15	

【溝出土遺物】1は染付け磁器で広東碗の底部破片、底径4.2cm、1780～1840年代の肥前産。2は鉄陶器の灯明皿、推定口径10.6cm、推定底径5.0cm、器高2.0cm、1690～1790年の志戸呂産。3は不明鉄片。他に中世の土器鉢の破片が出土した。

4 本村遺跡第102地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年11月1日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年11月11日から同年11月15日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、溝、井戸、土坑等を多数検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2002年12月11日から2003年2月10日まで大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代の落し穴1基、中世の溝6条、井戸7基、土坑11基、柵列、ピットを検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

5 本村遺跡第103地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年1月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年2月13日から同年2月18日まで行

なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていた。確認面まで100～160cmを測る。一部で遺構を確認したため、重機で遺構範囲の表土を除去し人力で調査した。検出遺構の写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

第49表 本村遺跡第103地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	130 × 119	122 × 109	8	
ピット1	不整形	39 × 29	25 × 20	29	

6 本村遺跡第104地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2003年4月15日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲外で東端隣接地に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年5月15日から同年5月30日まで行なった。幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。確認面まで110～130cmを測る。ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていたが、遺構を確認したため、重機で遺構範囲の表土を除去し人力で調査した。検出した遺構は縄文時代の炉穴、中世以降の溝、地下式墳、土坑、ピットである。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。遺跡範囲については変更増補を行なった。

(2) 遺構

【炉穴】調査区の北東隅に4基検出した。溝や表土入れ替えにより上部は削平されている。出土遺物はないが、覆土から縄文時代の炉穴である。

第50表 本村遺跡第104地点炉穴一覧表 (単位cm)

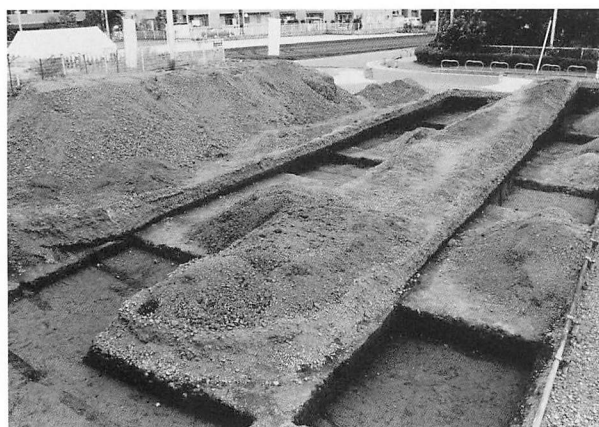
No	平面形態	確認面	焼土	深さ	備考
1	不整形	46 × 39	92 × 63	10	
2	楕円形	54 × 38	74 × 63	20	
3	不明	(33) × (23)	(43) × (36)	20	
4	不明	×	21 × (14)	10	



本村遺跡第99地点試掘調査



本村遺跡第99地点本調査石器出土状況



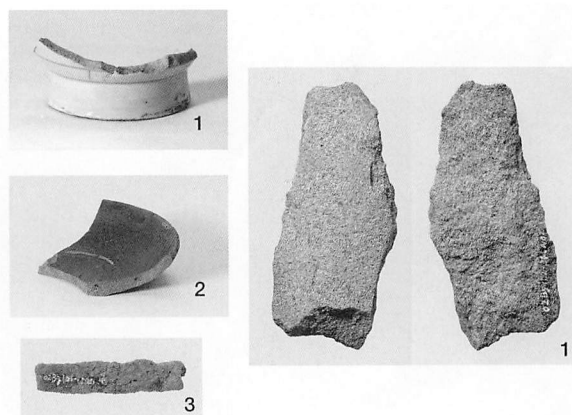
本村遺跡第100地点試掘調査



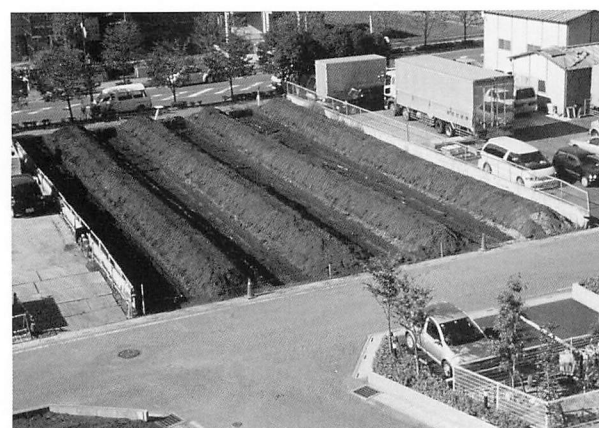
本村遺跡第101地点試掘調査



本村遺跡第101地点溝



本村遺跡第101地点出土遺物 本村遺跡第102地点出土遺物



本村遺跡第102地点試掘調査



本村遺跡第102地点本調査



本村遺跡第102地点 東側全景（西から）

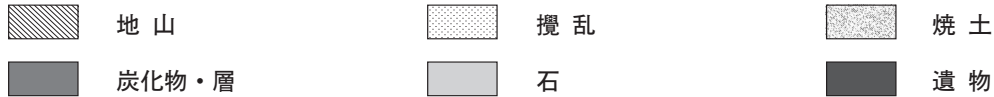


本村遺跡第102地点 西側全景（東から）

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図における screen-tone の指示は以下のとおりである。また、遺物出土状況のドットの指示はその都度図中に示している。



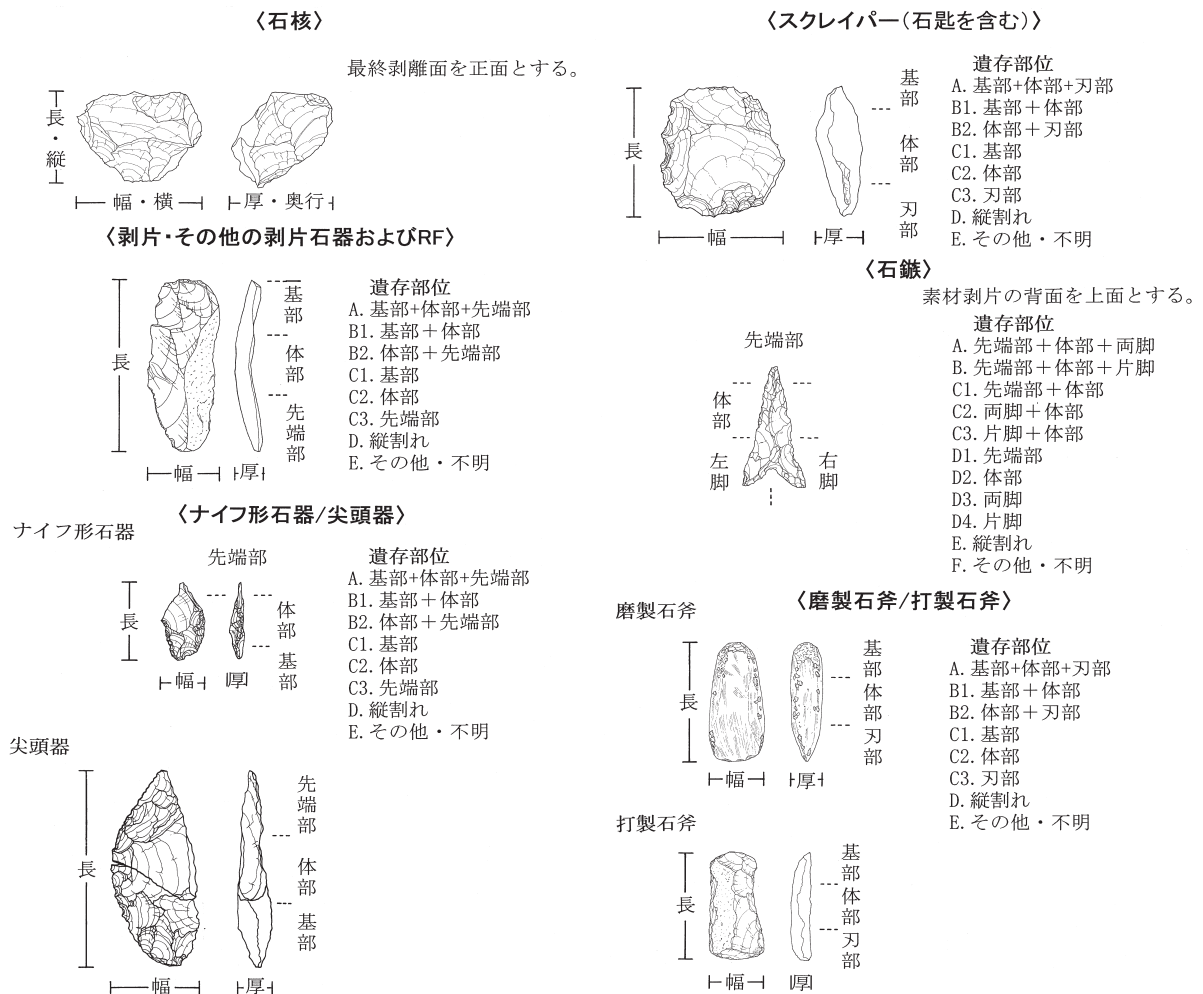
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

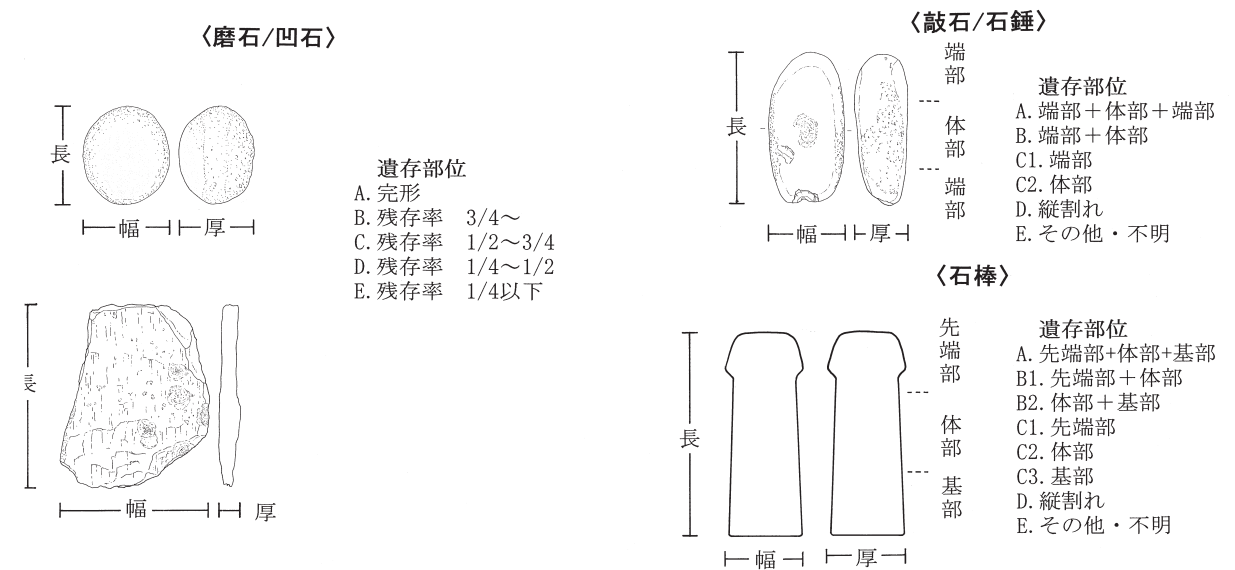
3. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 砥石実測図の断面における矢印の表示は、実線が砥面を、一点鎖線が加工痕の残存面を表す。
- (3) 遺物実測図における screen-tone の指示は以下のとおりである。



4. 旧石器・縄文土器・縄文石器の出土遺物観察表に記載した計測部位及び遺存部位は以下のとおりである。





5. 旧石器・縄文時代の遺物は以下のように分類した。

旧石器 石器分類表

器 種	群	類	器 種	群		
細石刃	(細分類無し)		剥片類	I	二次加工ある剥片（ＲＦ） または使用痕ある剥片（ＵＦ）	
尖頭器	(細分類無し)			II	縦長剥片（石刃含む）	
ナイフ形石器	I	縦長剥片（石刃含む）使用		III	横長剥片	
		1 一側縁調整		IV	石核調整剥片	
		2 二側縁調整		V	その他の剥片	
		3 基部調整		VI	砕片（チップ）	
		4 切出し形	石核	I	細石刃核	
	横長剥片使用			II	石刃核	
	1 一側縁調整	III		その他の石核		
	2 二側縁調整	石斧		I	打製石斧	
	3 基部調整			II	局部磨製石斧	
	4 切出し形	III	磨製石斧			
	III	不定形剥片使用		礫器	I	片面調整礫器
		1 一側縁調整	II		両面調整礫器	
2 二側縁調整		敲打器	I	成形・調整無し		
3 基部調整			II	成形・調整あり		
4 切出し形						
角錐状石器	(細分類無し)		磨石	(細分類無し)		
スクレーパー類	I	削器	石皿	(細分類無し)		
	II	搔器	砥石	(細分類無し)		
	III	彫器				

縄文 石器分類表

器 種	群	類	器 種	群	類
尖頭器		(細分類無し)			
石鏃	I	無茎	石皿	I	使用面が皿状に凹む
	II	有茎			1 凹石と併用する
礫器		(細分類無し)			2 凹石と併用しない
				II	使用面が平坦
スタンプ形石器	I	側縁無調整			1 凹石と併用する
	II	側縁調整あり			2 凹石と併用しない
挟入磨石		(細分類無し)	砥石		(細分類無し)

打製石斧	I	短冊形		敲打器	I 成形・調整無し		
		1	両側縁が直線的でほぼ平行し、基部～先端部の幅がほぼ一定		II 成形・調整あり 精製		
		2	1 類に近いが、両側縁がやや外に膨らむ	石匙	I	1	横長
		3	先端部側がやや広がる			2	縦長
		4	先端部側がやや狭まる		II	粗製	
		5	両側縁に括れがある			1	横長
		6	全体に湾曲ないし屈折した平面形を呈する			2	縦長
	II	撥形		スクレーパー	I 削器		
		1	側縁・先端とも直線的で、定角式的な形状		II 搔器		
		2	全体に丸みを帯びる		III 彫器		
	III	分銅形		剥片類	I 2 次加工ある剥片。所謂 R F		
		その他			II 使用痕ある剥片。所謂 U F		
		IV	1		略円形または楕円形の平面形を呈する	III 石核調整剥片	
	2		不定形		IV その他の剥片		
	磨製石斧	I	乳棒状		V 碎片		
		II	定角式		石核 (細分類無し)		
磨石	I	平面形が円形		楔状石器 (細分類無し)			
		1	厚い	錐 (ドリル) (細分類無し)			
	2	扁平	石錘	I	挟入が 1 対		
	平面形が長円形～棒状				1	切り目あり	
	1	厚い			2	切り目なし	
	2	扁平			挟入が 2 対以上		
	III	平面形が隅丸方形または隅丸長方形		II	1	切り目あり	
		1	厚い		2	切り目なし	
2		扁平	石棒 (細分類無し)				

縄文 土器分類表

6 期区分	群	類	6 期区分	群	類			
草創期			中 期	V	中期後葉の加曾利 E 式土器			
早 期	I	撚糸文土器			1	「加曾利 E 式直前」段階		
	II	押型文土器			2	加曾利 E I 式古段階		
	III	沈線文土器			3	加曾利 E I 式新段階		
	IV	擦痕文・条痕文土器			4	加曾利 E II 式古～中段階		
		1		無文または擦痕文	5	加曾利 E II 式中～新段階		
2		条痕文		VI	中期末葉の加曾利 E 式土器			
前 期	I	前半（関山・黒浜式）			1	加曾利 E III 式		
	II	後半（諸磯・十三菩提式）			2	加曾利 E IV 式		
中 期	I	中期初頭			VII	連弧文土器		
		1	五領ヶ台 I 式			1	隆帯または微隆起線による連弧文	
		2	五領ヶ台 II 式	2	沈線による連弧文			
		3	五領ヶ台～貉沢のいわゆる中間型式	VIII	曾利式及び曾利式系統の土器			
	II	中期前葉の勝坂式系統の土器	IX	有孔鏝付土器				
		1		貉沢式	後 期	I	後期初頭の加曾利 E 式系統の土器	
		2		勝坂 I 式		II	称名寺式	
	III	中期中葉の勝坂式系統の土器	1	I 式古段階				
		1	勝坂 II 式	2			I 式新段階	
	2	勝坂 III 式	3	II 式				
	IV	阿玉台式系統の土器	III	堀之内式				
		1		阿玉台 I a～I b 式		1	1式	
		2		阿玉台 II 式		2	2式	
		3	阿玉台 III～IV 式	IV		加曾利 B 式		
		4	胎土により阿玉台式に比定しうる が、文様構成は勝坂式的である土器			1	1式	
				2	2式			
		晩 期		V	曾谷式			

縄文土器分類における「類」は、原則として同一「群」内で時系列順 (旧→新) に設定した。

縄文 地文分類表

分 類		分 類	
a	矢羽状沈線文	r	刺突文／列点文
b	半截竹管の腹による条線文	s	櫛歯状条線文
j	縄文	w	集合沈線による波状文 (流水文)
l	集合沈線文／太目の条線文	y	撚糸文
n	無文		

Ⅱ 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第3図）

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

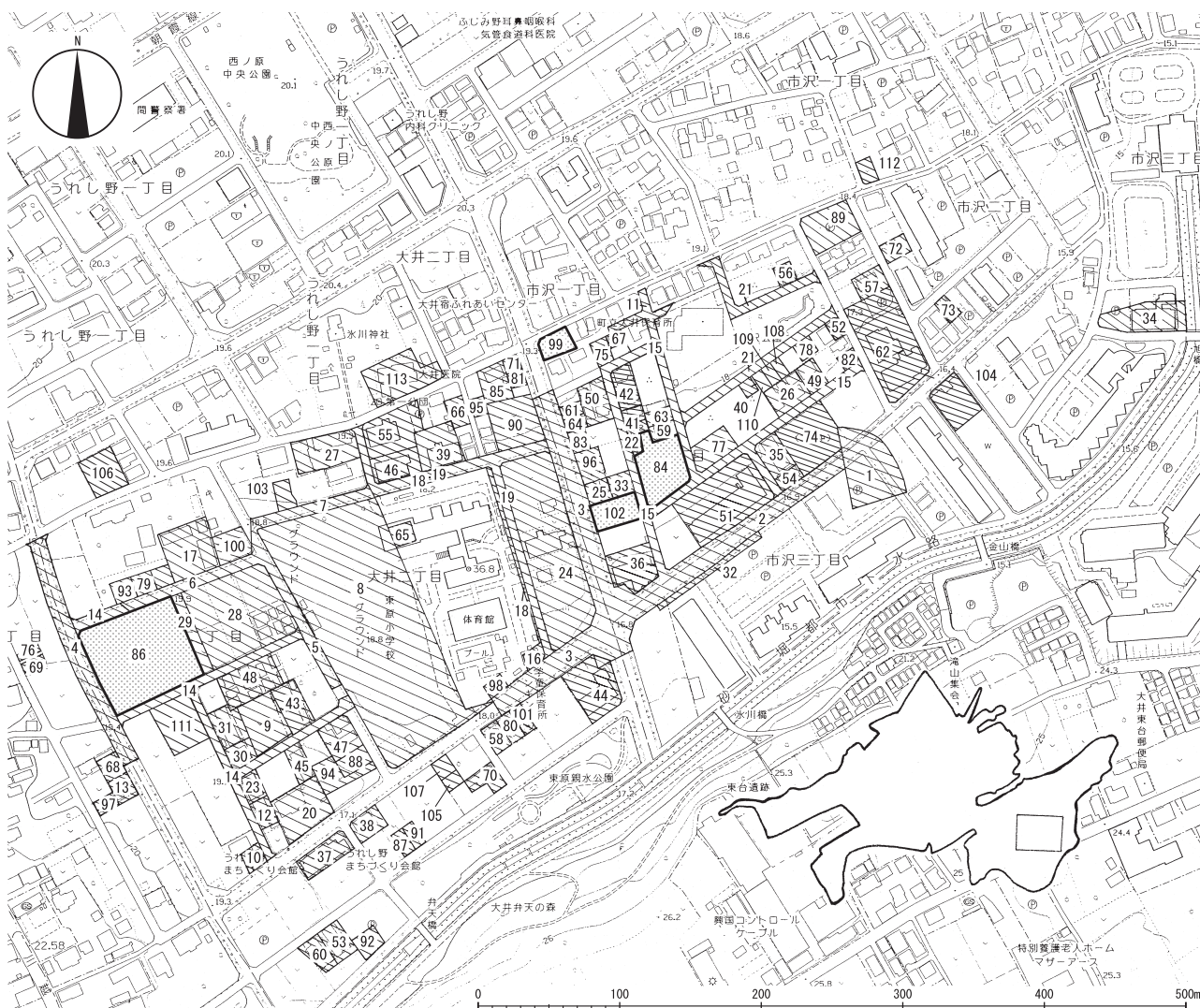
砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることができる。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川堀というのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を偲ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大

集落と奈良・平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場及び集落とみることができる。

いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

これまでに113カ所の本調査を行い、旧石器時代の礫群・石器ブロック、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式坑・茶毘跡、近代遺構等を多数検出している。



第3図 本村遺跡の地形と調査区（1/5,000）

5 本村遺跡第102地点

(2) 調査の概要

本地点は本村遺跡のほぼ中央に位置し、西側に第3地点を隔てて第24地点、北側に第25・33地点、東側に第15地点を隔てて第84地点（本書掲載）、南側に未調査区を隔てて第36地点が隣接する。

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年11月1日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年11月11日から同年11月15日まで行った。幅約2mのトレンチを4カ所設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った結果、溝、井戸、土坑等を多数検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、試掘調査を終了した。

本調査は2002年12月11日から2003年2月10日まで大井町遺跡調査会が行い、縄文時代の落とし穴1基、中世の溝4条、井戸7基、土坑11基、柱穴列8列、道路状遺構1、ピット144基を検出した。

(2) 遺構と遺物（第56～65図、第22～25表、 巻頭図版3、図版26～28）

〔縄文時代〕

本地点における先史時代遺構は、落とし穴が1基確認されたのみである。

【落とし穴】調査区北西端のB・C-15～17グリッドに位置する。長軸213cm・短軸112cm・深さ107cmを測り、主軸方位はN-6°-Wを指す（第58図）。深さ25cm前後に段（中端）があり、底部から中端まではほぼ垂直に立ち上がるが、中端から上端までは漏斗状に開いて立ち上がる。平面プランは、上端付近においては長楕円形を呈するが、中端から底部にかけてはやや崩れた隅丸方形となる。底面は小さな凸凹が認められるもののほぼ平坦で、底部小ピットは確認されない。遺物は確認されず、詳細な帰属時期は不明であり、縄文時代の所産と推測するに留めたい。

先史時代遺物は、試掘時のトレンチ及び表土一括で、縄文土器片3点及び石器1点が検出された。図示は省略するが、以下に概要を述べる。土器はいずれも、胎土から中期後半～後期初頭に帰属するものと考えられ

る小破片。石器は敲石と分類したが、只の破礫の可能性もある。

〔中世以降〕

①遺構

井戸

7基確認されており、井戸1～6は東側で群をなし、井戸7は調査区西側に柱穴列と溝に近接して存在する。

【井戸1】調査区南東側、井戸6の南側に位置する。平面形は円形で、規模は108×108cm、深さは205cmを測る（第58図）。断面形はU字形で壁面には上部近くに足掛け穴が複数確認されている。底部からは径10～20cmの礫が数点、遺物は1～4層から出土している。詳細は第65図、観察は第23表に示す。

【井戸2】調査区東、井戸4の東側に位置する。平面形は円形で、規模は102×98cm、深さは147cmである（第59図）。断面形はU字形で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

【井戸3】調査区東側、井戸4の北側に位置する。平面形は円形で、規模は98×83cm、深さは209cmである（第59図）。断面形はU字形で、壁は底部近くでは若干北側にオーバーハングしながら立ち上がる。出土遺物はなし。

【井戸4】調査区東側、井戸2の西側に位置する。平面形は円形で、規模は91×85cm、深さは114cmを測る（第59図）。断面形はU字形で、壁は垂直に立ち上がる。出土遺物はなし。

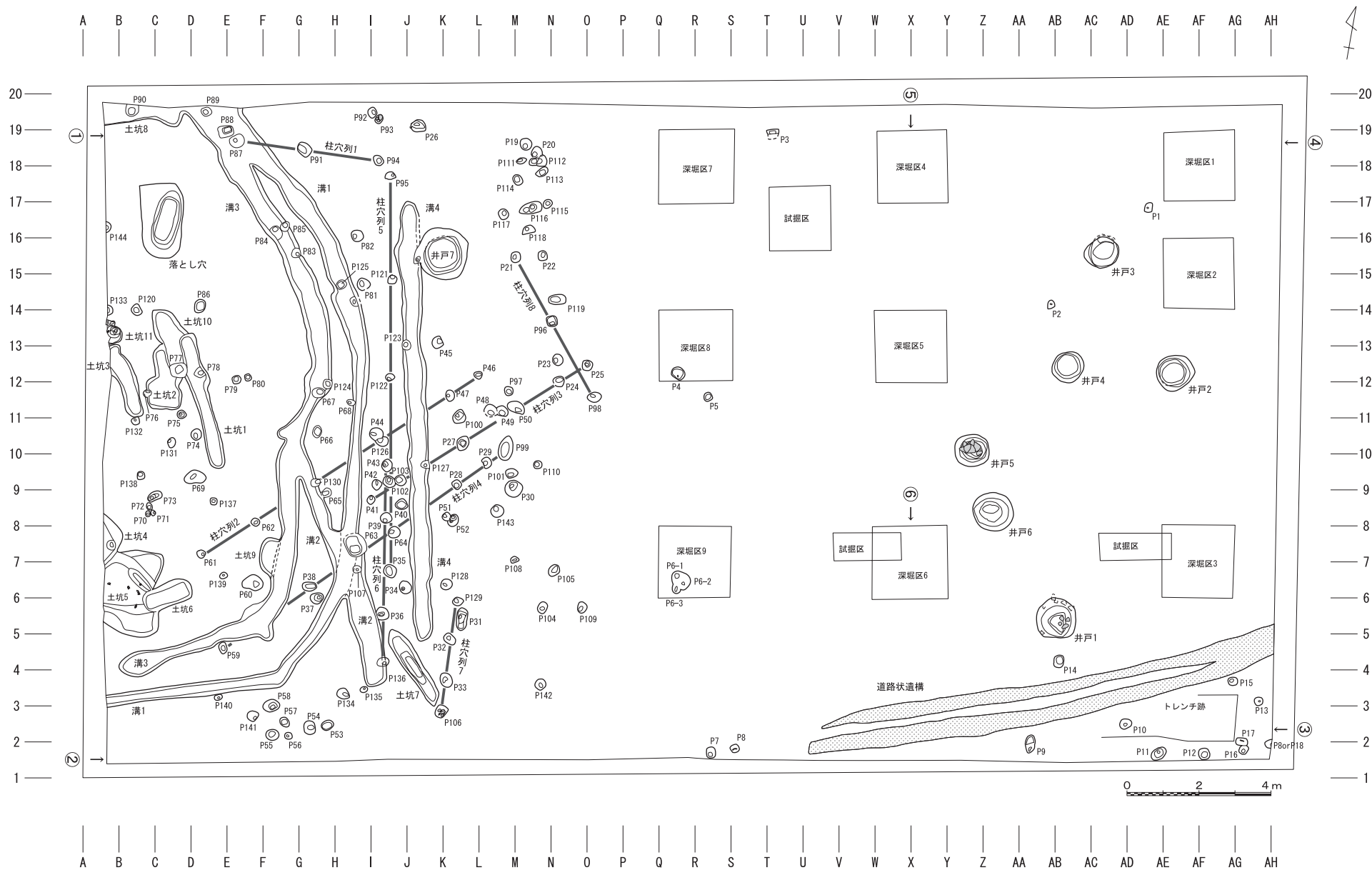
【井戸5】調査区東側、井戸6の北側に位置する。平面形は円形で、規模は94×89cm、深さは208cmを測る（第60図）。断面形はU字形で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。底部から径20～30cmの礫が多数出土している。

【井戸6】調査区東側、井戸5の南側に位置する。平面形は円形で、規模は115×105cm、深さは174cmを測る（第60図）。断面形はU字形で、壁は若干凹凸がみられる。出土遺物はなし。

【井戸7】調査区北西側、溝4側の東に位置する。井戸1～6のグループからは離れ、柱穴列と溝と近接する。平面形は円形で、規模は160×151cm、深さは150cmを測る（第60図）。断面形は底部から約1mまでは垂直に立ち上がるが、上部は漏斗状に開く。出土遺物はなし。

柱穴列

想定された柱穴列は8列で、柱穴列5～7が溝4と



第56図 本村遺跡第102地点 全体図 (1/150)

ほぼ平行、柱穴列1は柱穴列5と関連ありか。柱穴列2・3・4はほぼ平行で、柱穴列8と直行するが、溝との関連は窺えない（第61図）。

溝

溝は4条検出され（第62・63図）、すべて調査区西側に位置する。溝1・3は西から東に緩やかに弧を描き、北側及び南側は調査区外へ延びる。溝1の断面形は、西壁付近はコの字形である。東側に弧を描きながら北に延び、F9で溝2と合流、また徐々に深さを減じながら溝3と合流する。溝2・3の断面形は浅いU字形である。溝1～3に囲まれた部分と東側とでは目立った段差は認められないが、一つの区画された空間を作っており、何らかの施設があったものと考えられる。骨が出土した土坑11もこの区画内に存在している。溝4は南北方向の溝で、断面形はU字形である。本地点を東西に分ける仕切り溝として機能していたと考えられる。各溝の規模は第22表に示す。遺物は溝1・2から出土している。

土坑

土坑は平面形態から、4分類した。

- A類 溝状（土坑1・3）
- B類 長楕円形（土坑7・10）
- C類 長方形（土坑6）
- D類 不定形（土坑2・5）、
不明（土坑4・8・9・11）

以上11基の土坑が検出されたが、土坑11（土坑墓か）以外はその性格は特定できない。遺物は土坑2からカワラケが、土坑5から須恵器系陶器の擂鉢が出土して

いる。

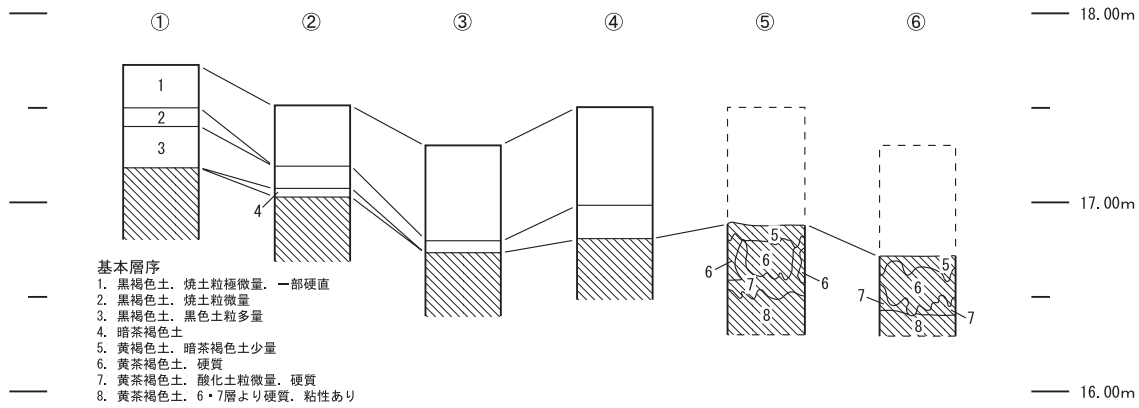
【土坑11】調査区西端、溝1～3の区画内に位置する。平面形は西側が調査区外へ延びるため不明であるが、底面は凹凸が激しく、壁の立ち上りは、南側は明瞭ではない。規模は確認される範囲で、長軸67cm、短軸41cm、深さは54cmを測る（第64図）。底部から骨と焼土が出土しており、葬制に関する遺構の可能性が考えられる。

②遺物

遺物は第25表に示したように、中世から近世にかけての製品が18点出土している。これらはすべて小破片で、図示できるものは少ない。そういった中でも第65図に図示した3点は、1が溝1出土の瓦質片口鉢の口縁部で、荒川正夫の編年（荒川2002）によれば14世紀前葉の製品であろうか。2は須恵器系陶器と思われる、やや緑がかった灰色の堅緻な製品で、内面に2本の櫛目があることから器種は擂鉢と考えられるものである。口縁部上端に一条の沈線が廻り、外面には横ナデの下に指頭圧痕がみられる。類例がみられず詳細は不明だが、在地産ではなさそうである。3は龍泉窯系の青磁鎗蓮弁文碗である。

こうしてみると本地点及びその周辺では14世紀前葉頃に土地利用されていたと考えられる。その後は明確な状態での遺構はみられないものの、青緑釉輪奘皿や天目茶碗等の出土から、17世紀以降も何らかの土地利用、例えば畑作のような利用が考えられる。

（梶原 勝・小林照子）



第57図 本村遺跡第102地点 基本層序 (1/40)

第22表 本村遺跡第102地点 遺構一覧表

()内は残存値及び確認された規模、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺構名	グリッド	形状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	標高 (m)	主軸方位	遺物	時期	備考
56・58	落とし穴	B. C15~17	長楕円	213	112	107	16.02	N-6° -E		縄文	中端から下端は崩れた隅丸方形／写26
56・59	井戸1	AA. AB4. 5	円形	108	108	205	14.63	-	○	中世	
	井戸2	AD. AF11. 12	円形	102	98	147	15.26	-		中世	
	井戸3	AB15, AC15. 16	円形	98	83	209	14.52	-		中世	
	井戸4	AA12, AB11, 12	円形	91	85	114	15.60	-		中世	
56・60	井戸5	Y. Z9. 10	円形	94	89	208	14.65	-		中世	
	井戸6	Y. Z7. 8	円形	115	105	174	14.99	-		中世	
	井戸7	J. K14~16	円形	160	152	151	15.48	-		中世	溝4より新
56・61	柱穴列1	E~I18	-	270	-	-	-	N-72° -E		中世	西からP87・91・94／写26
	柱穴列2	D7~K17	-	610	-	-	-	N-47° -E		中世	南西からP61・62・130・126・47・46／写26
	柱穴列3	H8~O12	-	470	-	-	-	N-48° -E		中世	南西からP41・103・127・27・50・24・25／写26
	柱穴列4	D4~L10	-	640	-	-	-	N-45° -E		中世	南西からP59・38・64・28・29・99／写26
	柱穴列5	I6~17	-	735	-	-	-	N-10° -W		中世	南からP35・102・122・121・95／写26
	柱穴列6	I4~9	-	368	-	-	-	N-9° -W		中世	南からP136・36・39・43／写27
	柱穴列7	J. K2~6	-	210	-	-	-	N-2° -W		中世	南からP106・33・32・129／写27
	柱穴列8	L15~O11	-	210	-	-	-	N-39° -W		中世	南東からP98・96・21／写27
56・62・63	溝1	A~H2~10	-	(2220)	32~70	10~16	16.84~16.90	-	○	中世	溝2、P68・87・88・125より新。溝3、P63と切り合う。東側に向かって弧を描く。北・西側は調査区外へと延びる／写27
	溝2	E~I3~19	-	(660)	38~77	6~12	16.84~16.90	N-30° -W		中世	P36・107・136より新。溝1・3、P65・83・84より旧。P63・130と切り合う／写27
	溝3	A~G3~19	-	(1935)	32~70	10~15	16.85~16.90	-		中世	溝2・土坑9、P84・85・87・88・89より新。P83より旧。溝1・土坑8、P67・124と切り合う。東側に向かって弧を描く。北側は調査区外に延びる／写27
	溝4	I. J4~17	-	1220	50~60	7~13	16.80~16.93	N-12° -W		中世	P123・127より新。井戸7より旧／写28
56・63	土坑1	C12~14, D9~13	溝状	383	37~60	28	16.72	N-25° -W		中世	小穴1。土坑10、P77・78より新／写27
	土坑2	B. C11. 12	不定形	(180)	95	33	16.58	N-6° -E	○	中世	土坑10、P77より新。P76と切り合う／写27
	土坑3	A. B11~13	溝状	210	50	20	16.71	N-33° -W		中世	西側は調査区外へ延びる／写27
56・64	土坑4	A. B6~8	不明	140	(54)	18	16.70	-		中世	土坑5と切り合う。西側は調査区外へ延びる／写27
	土坑5	A~C4~7	不定形	240	(160)	10~40	16.40~16.77	-	○	中世	土坑4・6と切り合う。西側は調査区外へ延びる／写27
	土坑6	B~D5. 6	長方形	140	65	41	16.41	N-58° -E		中世	土坑5と切り合う／写27
	土坑7	I. J3. 4, I5	長楕円形	234	52	55	16.40	N-43° -W		中世	写28
	土坑8	A~C19	溝状	(220)	(67)	22	17.02	-		中世	P90より新。溝3と切り合う。西側・北側は調査区外へ延びる
	土坑9	E. F6. 7	不明	100	(51)	16	16.84	-		中世	溝3より旧
	土坑10	B. C13	長楕円形か	(166)	76	10	16.86	N-37° -W		中世	土坑1・2より旧。P77と切り合う／写27
56・64	土坑11	A. B11	不明	67	(41)	54	16.46	-	○	中世	骨出土。西側は調査区外へ延びる
56	道路状遺構		-	880	60~75	-	16.53~16.68	N-68° -E		中世	写28

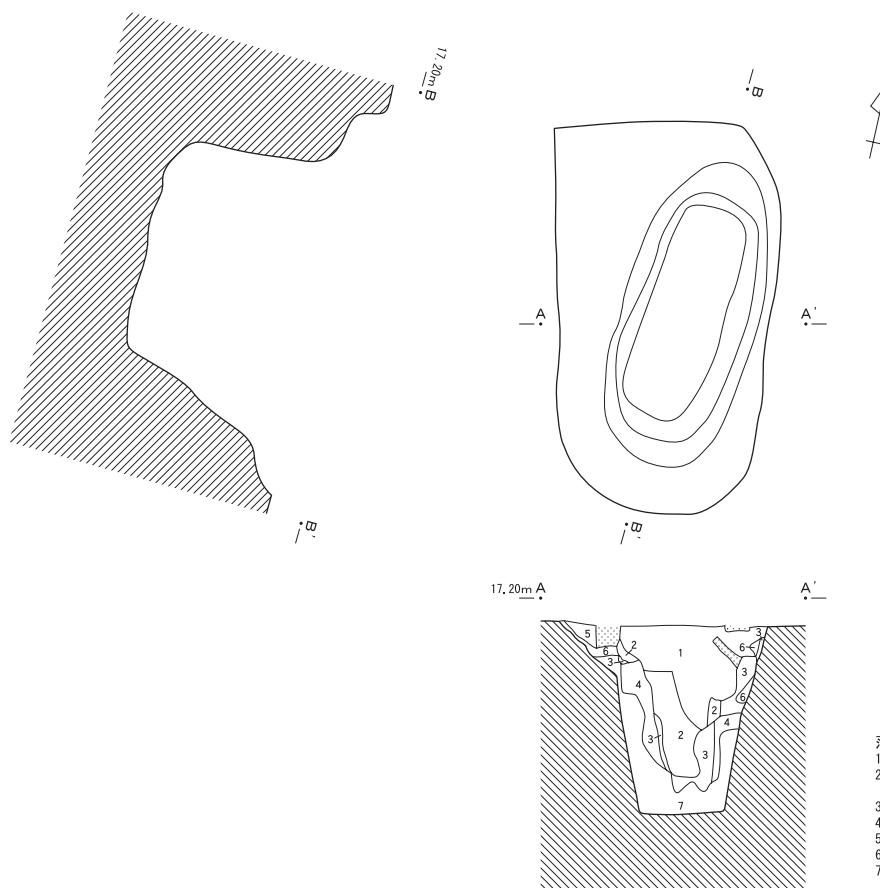
第23表 本村遺跡第102地点 ピットー覧表

()内は残存値及び確認された規模

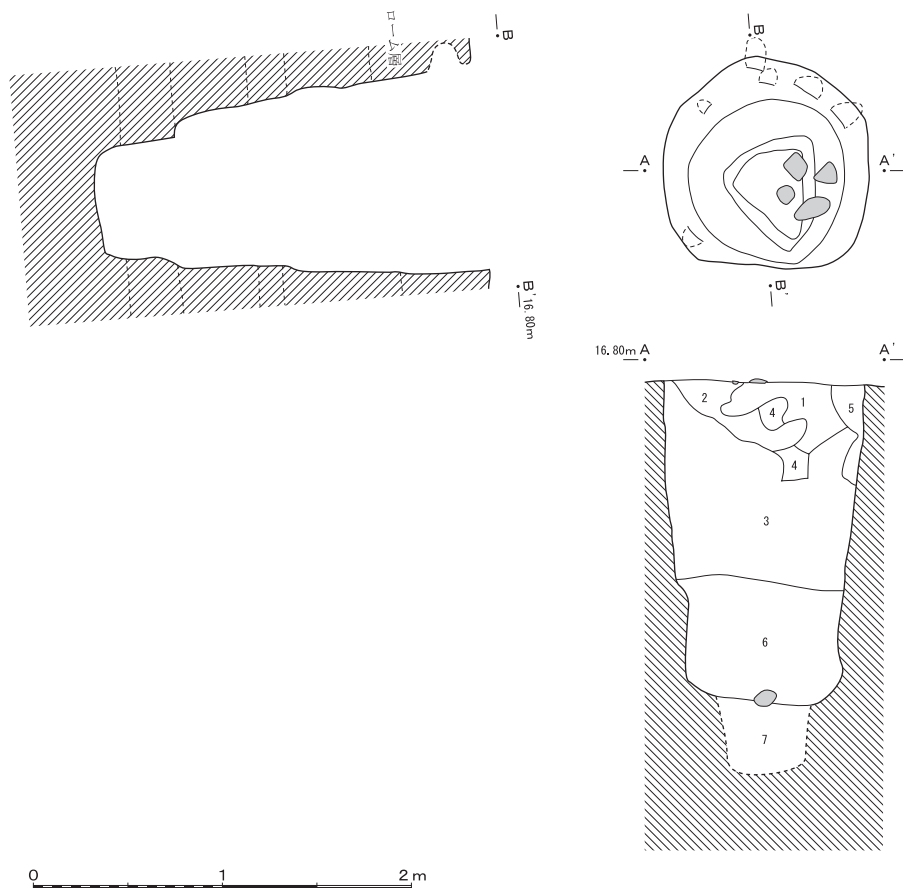
図版 番号	ピット No.	グリッド	形 状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	標 高 (m)	備 考
56	1	A. D16	長方形	28	20	39	16.19	
	2	AA14	楕円形	22	19	28	16.31	
	3	T18. 19	長方形	32	27	15	16.60	
	4	Q12	楕円形	38	32	34	16.30	
	5	R11	方形	23	23	34	16.25	
	6-1	Q6	楕円形か	40	(29)	30	16.29	
	6-2	Q6	楕円形か	43	(26)	43	16.15	
	6-3	Q6	楕円形か	(26)	24	24	16.34	
	7	R1	長方形	30	25	57	16.08	
	8	R. S1	方形	23	22	44	16.16	
	9	AA1. 2	楕円形	48	28	45	16.21	
	10	AC. AD2	楕円形	34	27	34	16.31	
	11	AD. AE1	楕円形	46	30	29	16.47	
	12	AE. AF1	方形	32	30	46	16.23	
	13	AG3	方形	24	23	19	16.51	
	14	AA. AB4	長方形	34	27	27	16.38	
	15	AF. AG3	長方形	26	23	23	16.43	
	16	AG1. 2	長方形	27	23	32	16.37	
56・61	17	AG1. 2	長方形	33	21	34	16.34	
	18	AG1. 2	楕円形か	(18)	23	29	16.41	
	19	M18	円形	33	32	39	16.57	
	20	M18	円形か	30	(28)	60	16.36	P112より新
	21	L. M15	長方形	30	26	25	16.68	柱穴列8
	22	M15	方形	27	25	31	16.60	
	23	N12	円形	31	29	46	16.39	
	24	N11. 12	方形	30	29	26	16.54	柱穴列3
	25	N. O12	方形	29	28	67	16.17	柱穴列3
	26	J18. 19	方形	41	33	48	16.58	
	27	K10	楕円形	43	32	70	16.24	柱穴列3
	28	K9	方形	25	23	35	16.55	柱穴列4
	29	L9	長方形	29	23	19	16.67	柱穴列4
	30	L. M8. 9	楕円形	40	40	58	16.27	
	31	K5	長楕円	62	29	44	16.38	
	32	K4. 5	長方形	36	25	42	16.47	柱穴列7
	33	J. K3	楕円形	42	33	45	16.46	柱穴列7
	34	I. J6	円形	36	32	34	16.61	
	35	I6	長方形	36	33	19	16.76	柱穴列5
	36	I5	楕円形	36	35	37	16.56	柱穴列6。溝2より旧
	37	G5. 6	楕円形	37	30	51	16.43	
	38	G6	長方形	39	25	17	16.78	柱穴列4
	39	I8	方形	30	29	36	16.59	柱穴列6
	40	H. I8	方形	30	30	19	16.79	
	41	I. J8	長方形	23	20	19	16.77	柱穴列3
	42	I8. 9	方形	26	26	23	16.72	
	43	I9	楕円形	30	30	44	16.53	柱穴列6
	44	H. I10	楕円形	38	33	43	16.53	P126より新
	45	J12. 13, K13	方形	30	29	59	16.39	
	46	K. L12	楕円形	23	21	20	16.74	柱穴列2
	47	K11	楕円形	31	24	22	16.76	柱穴列2
	48	L11	円形	(38)	33	56	16.33	P49より旧
	49	L11	楕円形	35	28	57	16.26	P48・50より新
	50	L. M11	長楕円	51	31	46	16.35	柱穴列3。 P49より旧
	51	J. K8	方形か	24	22	16	16.72	P52と切り合う
	52	K7. 8	楕円形	35	(25)	49	16.39	P51と切り合う
	53	G2	楕円形	33	26	19	16.75	
	54	G2	楕円形	38	31	28	16.67	
	55	F2	楕円形	36	30	20	16.73	
	56	F2	楕円形	20	18	13	16.81	
	57	F2	楕円形	29	23	13	16.81	
	58	F2. 3	長方形	42	34	35	16.60	
	59	D4	楕円形	33	29	17	16.77	柱穴列4
	60	E6	楕円形	55	44	38	16.62	
	61	D7	方形か	23	21	27	16.75	柱穴列2
	62	E8	長方形	22	21	20	16.81	柱穴列2
	63	H7	長方形	66	(56)	49	16.45	溝1. 2と切り合う
	64	I7	楕円形	33	31	38	16.55	柱穴列4
	65	G8. 9	楕円形	(28)	24	24	16.72	溝2より新
	66	G10	楕円形	22	25	32	16.66	
	67	G11	楕円形	35	28	86	16.08	溝3と切り合う
	68	H11	楕円形	(24)	16	14	16.81	溝1より旧
	69	C. D9	楕円形か	49	46	57	16.29	
	70	B8	楕円形	16	13	10	16.76	
	71	B. C8	方形	14	13	19	16.67	

図版 番号	ピット No.	グリッド	形 状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	標 高 (m)	備 考
56・61	72	B8	楕円形	21	12	30	16.82	
	73	B. C8	長楕円	41	23	37	16.45	片口鉢出土
	74	C. D10	円形	32	28	15	16.74	
	75	C10. 11	円形	25	23	46	16.44	
	76	B11	楕円形	(23)	20	61	16.26	土坑2と切り合う
	77	C12	長方形	47	41	79	16.11	土坑1・2より旧 土坑10と切り合う
	78	D12	方形か	27	25	56	16.33	土坑1より旧
	79	E11. 12	方形	22	22	28	16.68	
	80	E12	方形	19	17	19	16.76	
	81	H14	楕円形	35	35	38	16.55	
	82	H15. 16	方形	32	31	50	16.47	
	83	F. G15	方形	26	24	40	16.60	溝3より新
	84	F15. 16	長方形	38	26	49	16.50	溝3より旧
	85	F16	楕円形	29	24	73	16.27	溝3より旧
	86	D13. 14	楕円形	37	30	25	16.78	
	87	E18	楕円形	41	35	23	16.65	柱穴列1。溝1・3より旧
	88	D. E18. 19	長方形	41	32	64	16.25	溝1・3より旧
	89	D19	方形	27	25	23	16.69	溝3より旧
	90	B19	楕円形か	(33)	35	52	16.56	土坑8より旧。北側調査区外
	91	F. G18	長方形	41	33	76	16.30	柱穴列1
	92	H. I19	方形	26	25	39	16.66	
	93	I19	楕円形	26	19	35	16.70	
	94	I18	楕円形	30	24	33	16.68	柱穴列1
	95	I17	長方形か	26	21	37	16.68	柱穴列5
	96	M. N13	方形	30	29	19	16.70	柱穴列8
	97	L11	方形	24	23	24	16.63	
	98	O11	楕円形	39	28	37	16.44	柱穴列8
	99	L9. 10	長楕円	68	39	15	16.70	柱穴列4
	100	K10. 11	方形か	36	34	50	16.43	
	101	L. M9	楕円形	34	21	15	16.70	
	102	I9	楕円形	35	30	44	16.62	柱穴列5
	103	I9	方形	30	30	29	16.66	柱穴列3
	104	M5	長方形	32	25	46	16.30	
	105	M. N6	楕円形	33	27	69	16.08	
	106	J. K2. 3	長方形	36	29	45	16.43	柱穴列7
	107	H6	楕円形	24	20	24	16.61	溝2より旧
	108	L. M6. 7	長楕円	21	17	51	16.26	
	109	N5	楕円形	29	25	63	16.11	
	110	M10	方形	23	21	52	16.28	
	111	M18	楕円形	29	16	24	16.73	
	112	M17. 18	方形か	48	30	46	16.49	P20より旧。2基か
	113	M17	楕円形	35	21	34	16.61	
	114	L. M17	楕円形	30	24	32	16.62	
	115	M. N16. 17	楕円形	27	22	54	16.35	
	116	M. N16. 17	長楕円	65	31	62	16.28	2基か
	117	L16	長方形	29	27	61	16.35	
	118	M16	長方形	33	22	43	16.48	
	119	M. N14	長方形	48	27	37	16.49	
	120	B13. 14	長方形	31	25	26	16.74	
	121	I14	方形	24	24	64	16.37	柱穴列5
	122	I12	楕円形	23	20	26	16.72	柱穴列5
	123	I. J12. 13	楕円形	28	24	52	16.49	溝4より旧
	124	G11. 12	方形	26	25	46	16.48	溝3と切り合う
	125	H14	長方形	28	25	25	16.65	溝1より旧
	126	I10	楕円形	(31)	27	29	16.66	柱穴列2。 P44より旧
	127	J9	楕円形か	24	22	37	16.58	柱穴列3。溝4より旧
	128	J. K6	楕円形	31	30	50	16.39	
	129	K5. 6	楕円形	25	23	56	16.33	柱穴列7
	130	G9	楕円形	26	22	34	16.63	柱穴列2。溝2と切り合う
	131	C10	楕円形	29	21	69	16.11	
	132	B10. 11	方形	21	20	46	16.39	
	133	B13. 14	不明	(14)	(28)	21	16.81	西側調査区外
	134	H3	楕円形	36	29	30	16.63	
	135	H3	楕円形	21	16	37	16.56	
	136	I4	楕円形	32	24	47	16.66	柱穴列6。溝2より旧
	137	D8	方形	19	19	19	16.70	
	138	B9	方形	22	20	17	16.53	
	139	D. E6	楕円形	21	17	51	16.74	
	140	D3	楕円形	22	15	31	16.69	
	141	E2	方形	28	28	34	16.58	
	142	M3	方形	30	29	50	16.25	
	143	L8	楕円形	36	33	42	16.39	
	144	B16	円形か	30	(14)	15	16.93	西側調査区外

落とし穴

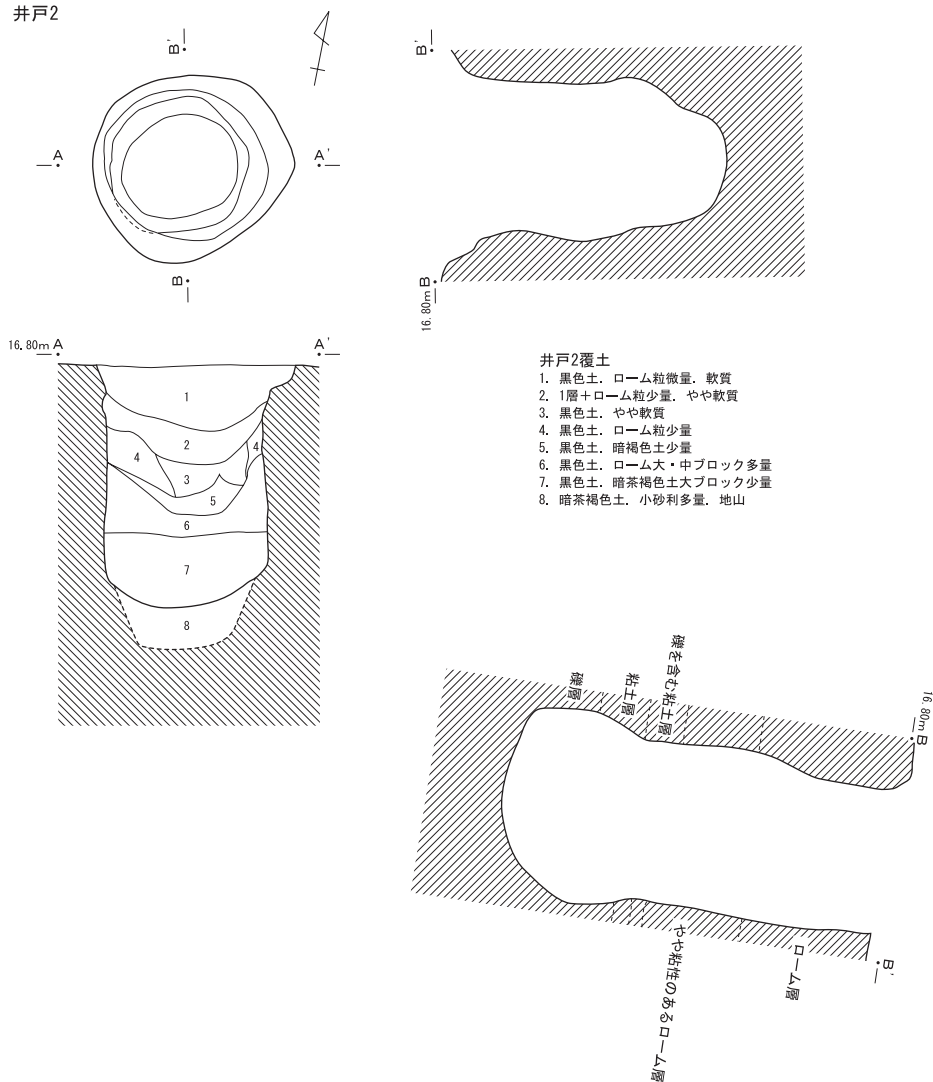


井戸1

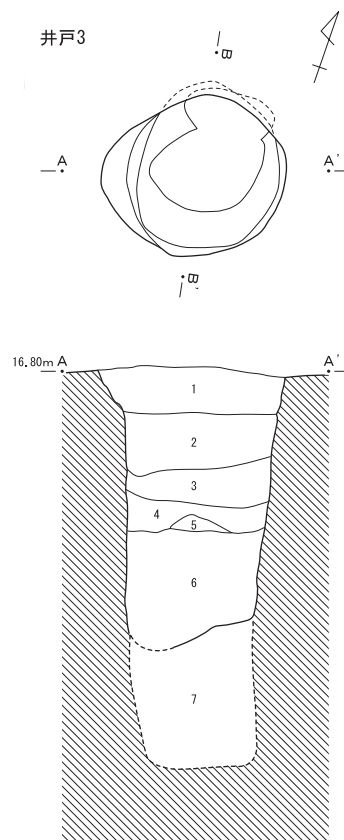


第58図 本村遺跡第102地点 落とし穴・井戸 1 (1/40)

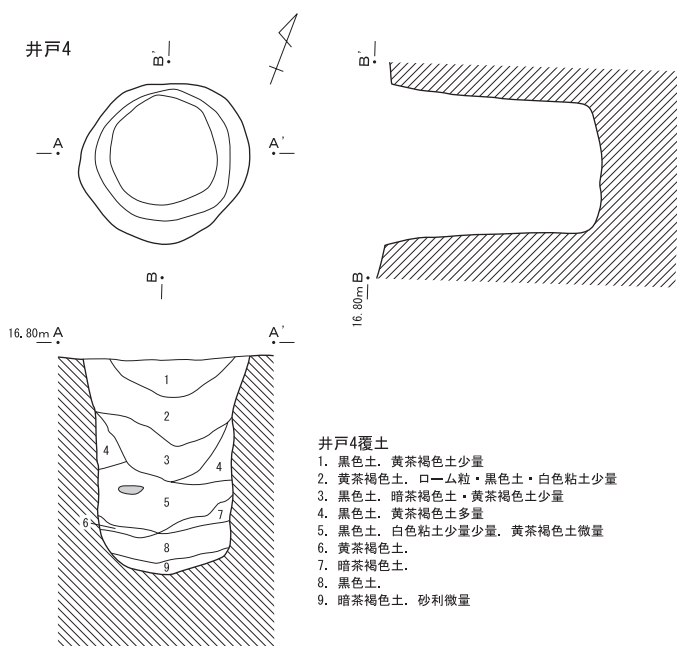
井戸2



井戸3

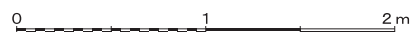


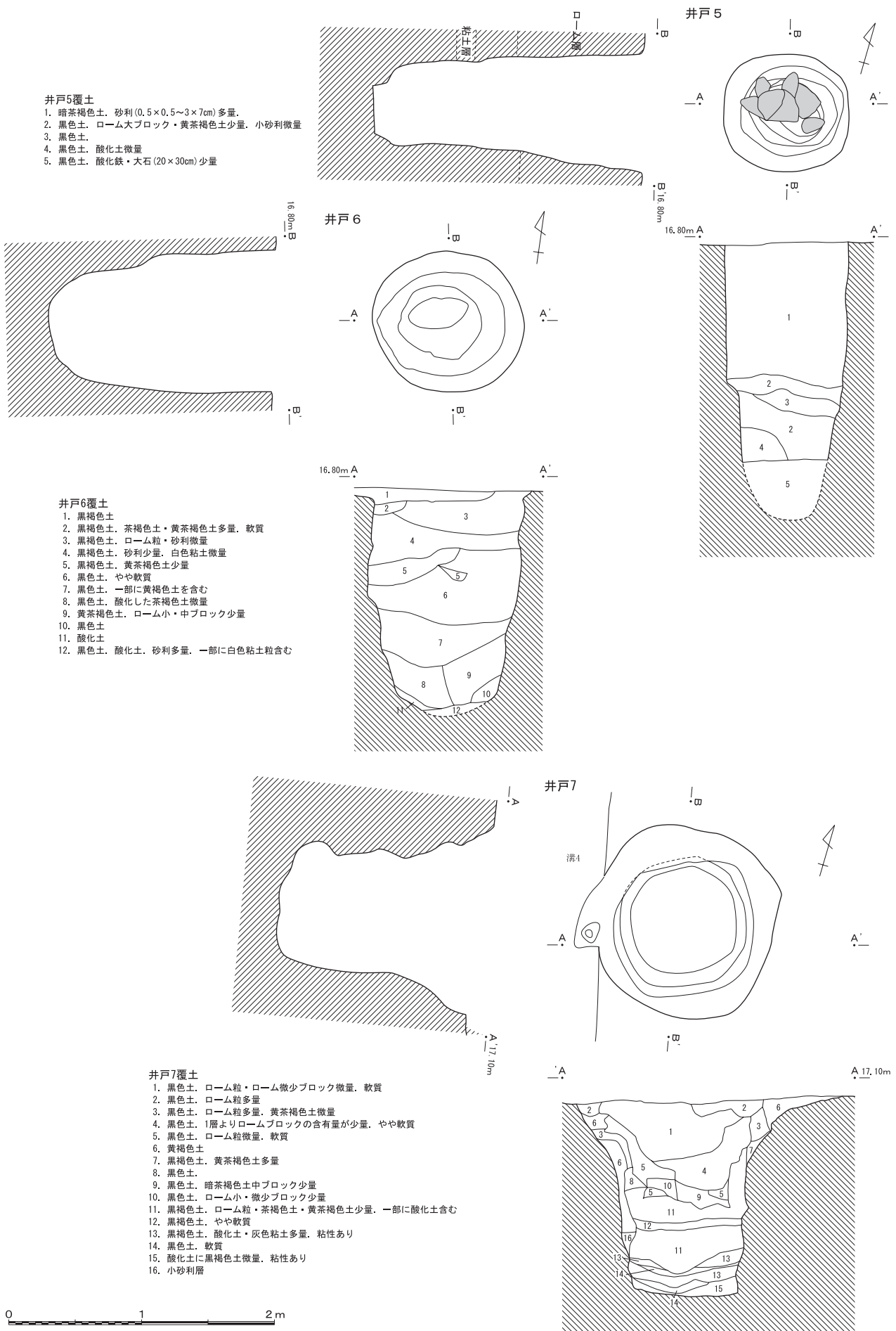
井戸4



井戸3覆土

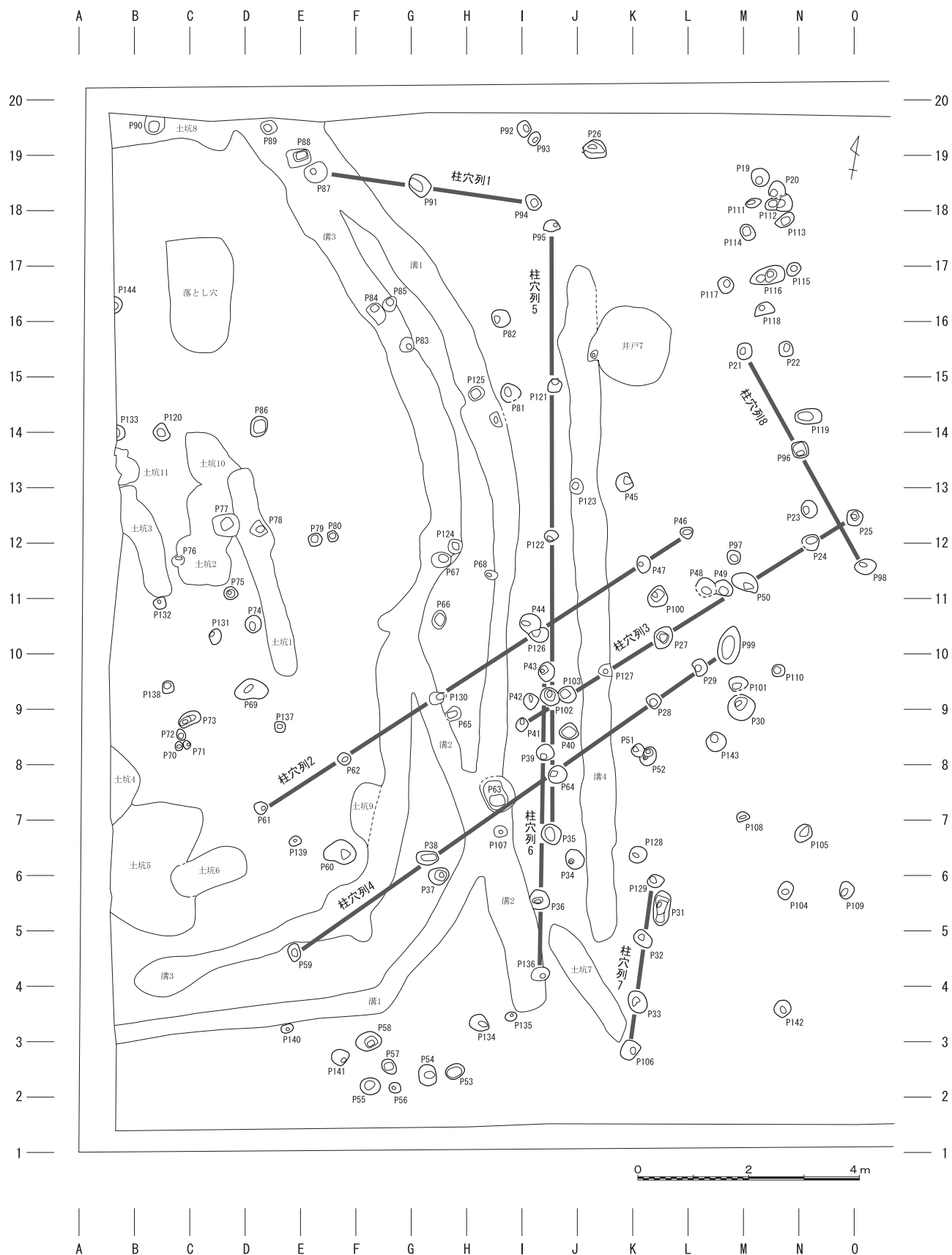
1. 暗褐色土＋黒色土、ローム粒少量、軟質
2. 黒色土、ローム中、微小ブロック少量
3. 黒色土、ローム粒少量、ローム小ブロック微量
4. 黒色土
5. 暗茶褐色土、
6. 黒色土、大・小の砂利多量、暗茶褐色土微量
7. 黒色土、大・小の砂利多量、
ローム微小ブロック・酸化土微量





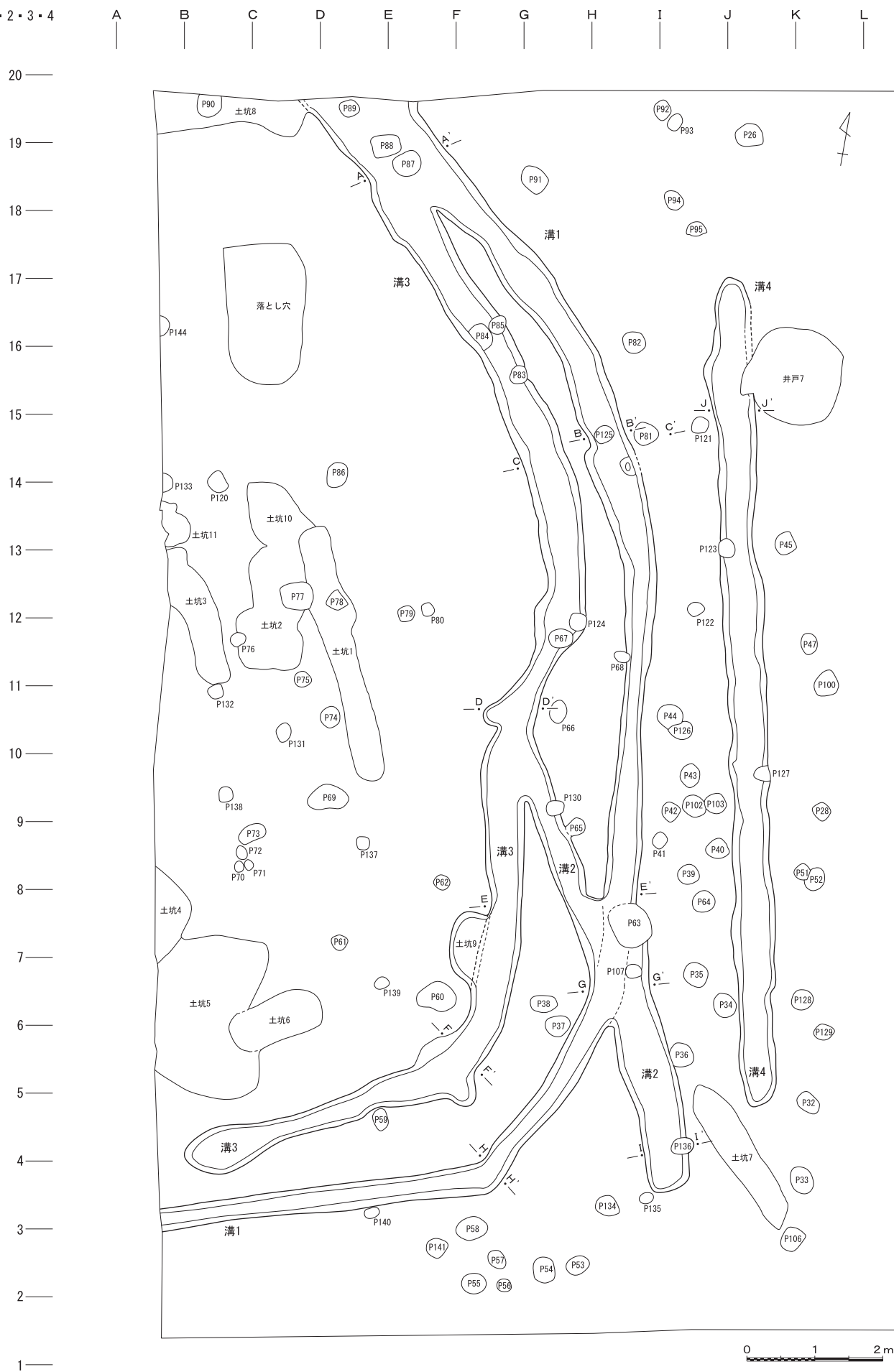
第60図 本村遺跡第102地点 井戸5～7 (1/40)

柱穴列1～8



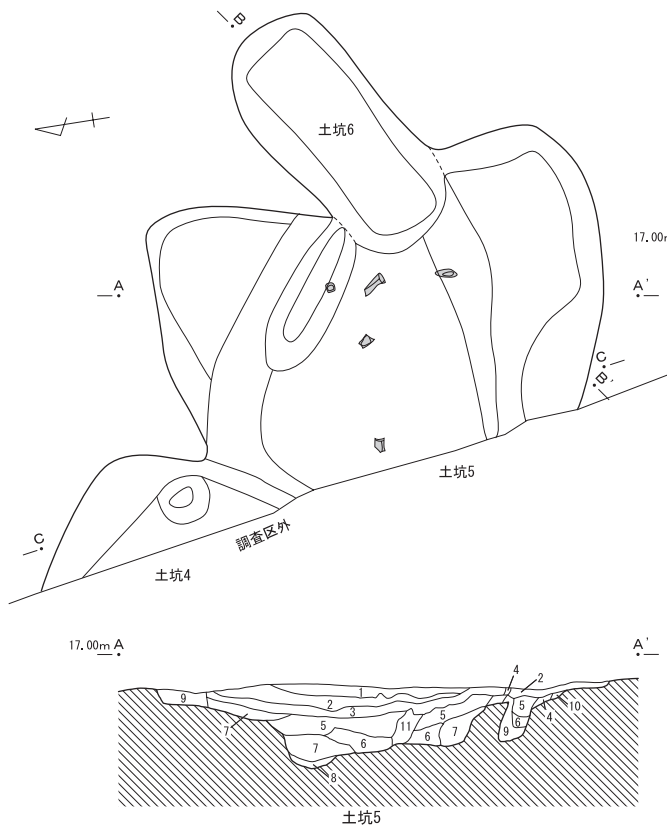
第61図 本村遺跡第102地点 柱穴列1～8 (1/100)

溝1・2・3・4



第62図 本村遺跡第102地点 溝1～4 (1) (1/80)

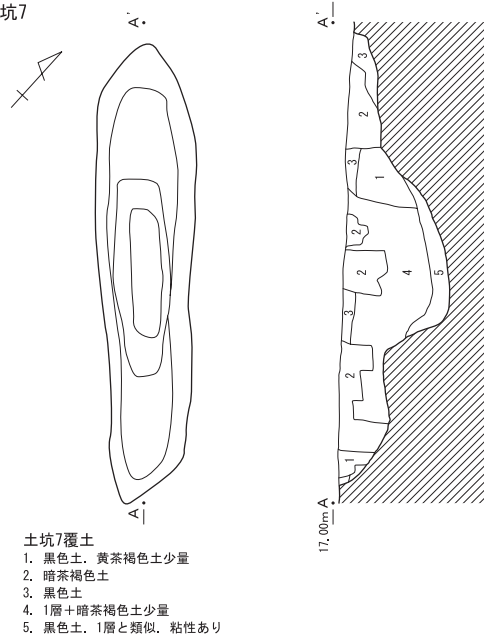
土坑4・5・6



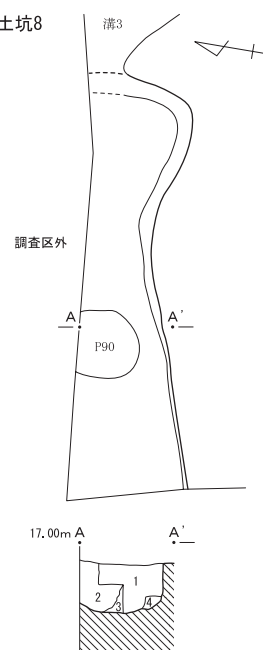
土坑5覆土

1. 暗茶褐色土、黒褐色土多量
2. 黒色土、硬質
3. 黒色土、黄茶褐色土を斑状に含む
4. 黒色土、やや硬質
5. 黒色土、ローム微少ブロック微量
6. 黒色土、ローム粒・ローム微少・黄茶褐色土少量
7. 黒色土、ローム大・中・小ブロック、黄茶褐色土少量
8. 黒色土、ローム土多量
9. 黒色土、ローム土多量
10. 黒色土、ローム粒微量
11. 黒色土、黄茶褐色土少量、やや軟質

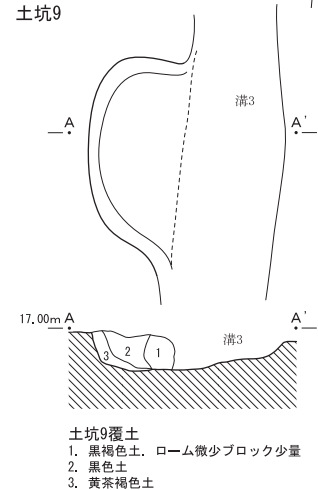
土坑7



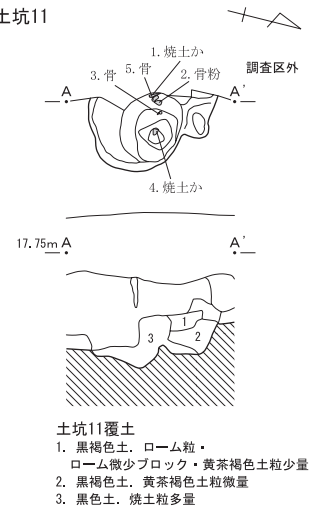
土坑8



土坑9



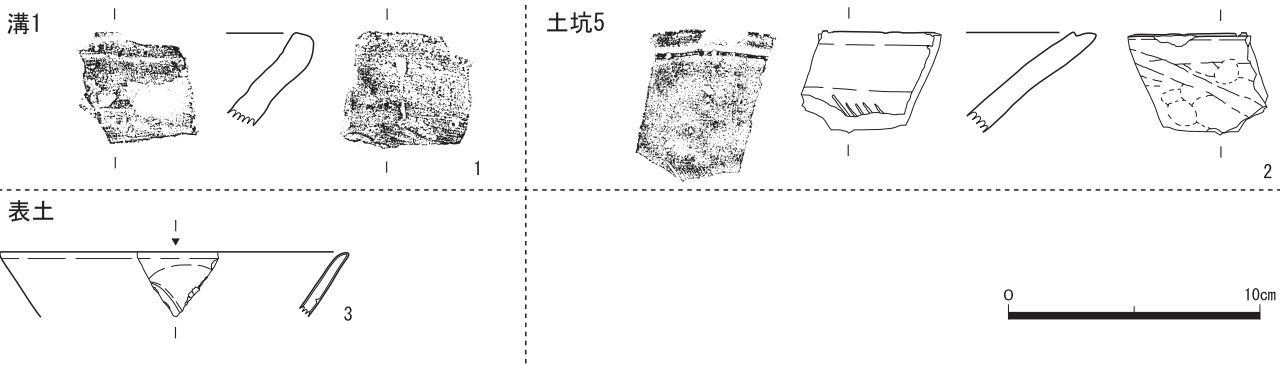
土坑11



第24表 本村遺跡第102地点 出土遺物観察表

備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	掲載 番号	遺構名 出土地点	種別・器種	単位cm 推定() 残存< >			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
65	1	溝1	瓦質土器・搗鉢	-	-	<3.6>	紐積み成形、内外面横ナデ	在地	14世紀前葉	破片／写28
	2	土坑5	須恵器系陶器・搗鉢	-	-	<4.0>	紐積み成形、内面横ナデ・5本櫛目、外面口縁部ナデ、体部下半指頭圧痕	不明	不明	破片／写28
	3	表土	磁器・碗 青磁鎔蓮弁文碗	(14.0)	-	<2.6>	ロクロ成形／青磁釉、片切彫り鎔蓮弁文	南宋・龍泉窯	13世紀末～ 14世紀前半	1/2以下／写28



第65図 本村遺跡第102地点 出土遺物（1/3）

第25表 本村遺跡第102地点 出土遺物集計表

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
井戸1	焼締陶器	1	大甕	1		
	合 計	1				
溝1	陶器	1	皿	1	青緑釉輪沓皿	1
	瓦質土器	1	片口鉢	1		
	合 計	2				
溝1・2	陶器	1	不明	1		
	合 計	1				
土坑2	土器	1	カワラケ	1		
	合 計	1				
土坑5	須恵器系陶器	1	搗鉢	1		
	合 計	1				
土坑11	骨	2				
	焼土塊	2				
	合 計	4				
総 計		18				

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
P73	瓦質土器	1	片口鉢	1		
	合 計	1				
2トレンチ	金属遺物	1	銭貨	1	不明	1
	合 計	1				
表土	磁器	1	碗	1	青磁鎔蓮弁文碗	1
	陶器	3	碗	1	天目茶碗	1
			德利	2	灰釉二合半德利	1
	土器	1	カワラケ	1		
	不明	1	不明	1		
	合 計	6				
総 計		18				



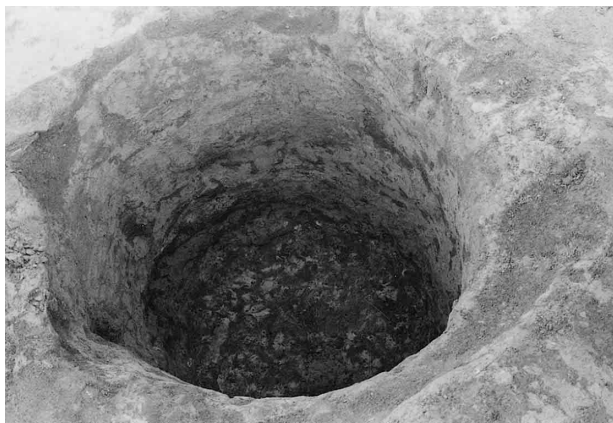
本村遺跡第102地点 井戸 1



本村遺跡第102地点 井戸 2



本村遺跡第102地点 井戸 3



本村遺跡第102地点 井戸 4



本村遺跡第102地点
落とし穴



本村遺跡第102地点
井戸 1 足掛け穴
検出状況



本村遺跡第102地点 井戸 5



本村遺跡第102地点 井戸 6



本村遺跡第102地点 井戸 7



本村遺跡第102地点 溝 1 ~ 3



本村遺跡第102地点 溝 1 ・ 2



本村遺跡第102地点 土坑 1 ・ 2 ・ 10



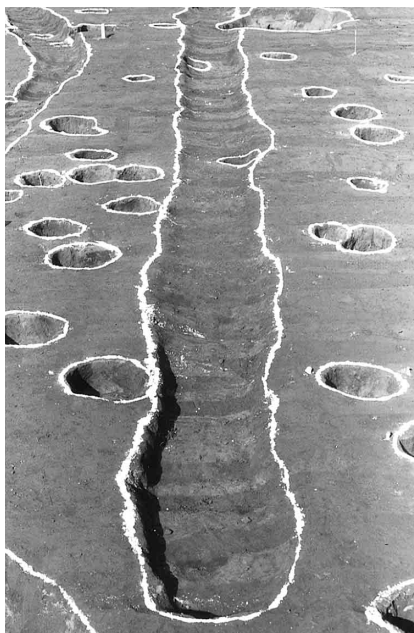
本村遺跡第102地点 土坑 2



本村遺跡第102地点 土坑 3



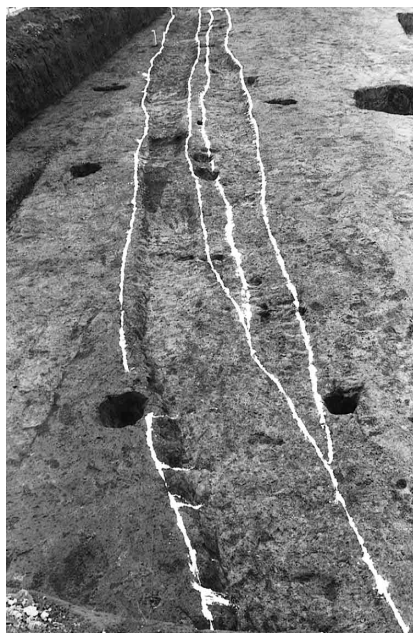
本村遺跡第102地点 土坑 4 ~ 6



本村遺跡第102地点 溝 4



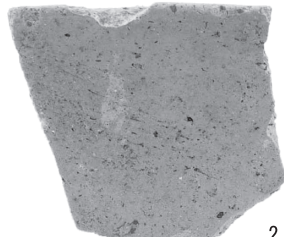
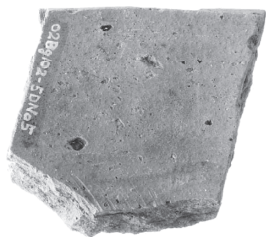
本村遺跡第102地点 土坑 7



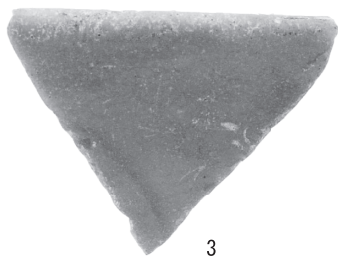
本村遺跡第102地点 道路状遺構



1



2



3